

令和 3 年 2 月 1 2 日

「コミュニティ・スクール西ケ原」学校運営協議会 委員長 内海三保子 印

1 「コミュニティ・スクール西ケ原」学校運営協議会(学校関係者評価委員会)の構成

委員長	内海三保子	副委員長	武藤 静芳
副委員長	湊 恵理子	委員	高橋 侃也
委員	堀田 秀一	委員	伊藤 秀夫
委員	加藤 寛文	委員	松原 義孝
委員	池田 一雄	委員	諸星 純司
委員	鈴木 悠資	委員	竹内 園子
委員	渡邊 鉄哉	委員	染谷 武
委員	田丸せつ子	委員	小野澤哲男
委員	田中 幸子	委員	橋本 雅美
委員	檜垣 昌子		
アドバイザー	山本 豊		以上学校側委員をのぞく 20 名

2 「コミュニティ・スクール西ケ原」学校運営協議会(学校関係者評価委員会)の主な活動

- 令和 2 年 6 月 4 日 ※緊急事態宣言による臨時休校に伴い、4 月開催を予定していた第 1 回を 6 月に開催した。
- ・ 1 4 年目の協議会発足、新委員等の任命及び委嘱。
 - ・ 学校経営計画（めざす学校像・児童像・教師像、中期目標と今年度の取り組み目標）、人事構想、教育課程、学校予算概要について学校から説明を受け、協議し、承認した。
 - ・ ようこそ先輩交流会の開催の仕方について説明した。
 - ・ コロナ禍による、今後の学校の教育活動等の制限及び変更について説明した。
- 令和 2 年 8 月 2 8 日 ※拡大学校運営協議会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした。
- 令和 2 年 1 2 月 1 1 日
- ・ 創立 9 0 周年記念事業について報告した。
 - ・ 6 ～ 1 2 月の教育活動、学力調査・いじめ不登校調査の結果について学校から説明を受け、協議した。
 - ・ 学校評価（自己評価、学校運営協議会委員の自己評価アンケート、学校関係者評価）の手順、児童・保護者アンケート、教員による自己評価の結果・考察について学校から報告を受け、協議した。
- 令和 3 年 2 月 1 2 日
- ※ 1 月からの緊急事態宣言延長を受け、紙面開催とした。
 - ・ 学校運営協議会委員の自己評価アンケートの結果について学校から報告を受け、協議した。自己評価が妥当であるかどうかについて協議し、学校関係者評価として見解をまとめた。
 - ・ 次年度の教育課程、学校運営協議会の活動計画について確認した。

3 自己評価の結果と分析（自己評価の評語A：目標を十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らなかった）

① 教育課程・学習指導	取組目標	達成目標	学校関係者評価
児童の知識・技能、思考力・判断力・表現力等を育成する。	A	A	妥当である
児童の学びに向かう力、人間性等を育成する。	A	A	妥当である

【見解】授業改善が進んだことで、児童の学習意欲が伸びたと考えられる。

② キャリア教育（進路指導）	取組目標	達成目標	学校関係者評価
児童の勤労観・職業観を形成する	B	B	妥当である

【見解】今年度は「技科」の実施数が減ったことの影響が出ている。肯定的評価が増えたのはよい。

③ 生徒指導	取組目標	達成目標	学校関係者評価
児童の豊かな人間関係をつくる。	A	B	妥当である
児童の心の悩みに寄り添い、解消に向けて働きかける。	A	A	妥当である
児童に他を思いやる心を育成する	A	B	妥当である

【見解】児童に寄り添い丁寧な生徒指導はできている。少数の困っている児童への指導を引き続き充実させる必要がある。

④ 保健管理	取組目標	達成目標	学校関係者評価
健康観察、保健指導による児童の病気・けがの予防	A	A	妥当である

【見解】十分な保健管理がなされていて問題ない。

⑤ 安全管理	取組目標	達成目標	学校関係者評価
学校事故等の緊急事態発生時に適切な対応をする。	A	A	妥当である

【見解】迅速な事故対応がなされていて問題ない。

⑥ 特別支援教育	取組目標	達成目標	学校関係者評価
組織的な特別支援教育を推進する。	A	B	妥当である

【見解】組織的な特別支援教育は十分推進している。特別支援教育対象児童の自己肯定感を上げる工夫は引き続き必要である。

⑦ 組織運営	取組目標	達成目標	学校関係者評価
組織的・効率的な学校運営を推進する。	A	B	妥当である

【見解】教職員の異動が多い中、組織的な学校運営を行っている。

⑧ 研修（資質向上の取組）	取組目標	達成目標	学校関係者評価
校内研究を通して、授業改善に取り組む。	A	B	妥当である

【見解】肯定的評価は増えている。ホームページ等を通しての保護者への紹介もよい。

⑨ 教育目標・学校評価	取組目標	達成目標	学校関係者評価
児童・保護者・地域の意見等を把握して、教育活動の改善に生かす。	B	B	妥当である

【見解】肯定的評価は増えている。保護者アンケートの工夫で回答しやすくなっている。コロナ禍のため、公開数が減っているのは仕方ない。

⑩ 情報提供	取組目標	達成目標	学校関係者評価
学校の教育活動に関する様々な情報を積極的に提供する。	A・B	A	妥当である

【見解】ホームページ等による発信は昨年度より充実している。コロナ禍で公開数が減っているのは仕方ない。

⑪ 保護者、地域との連携（コミュニティ・スクール西ケ原としての取組）	取組目標	達成目標	学校関係者評価
コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会の協議をもとに、保護者・地域の協力を得た教育活動を実施する。	A・A	A	妥当である

【見解】コロナ禍の制限の中、できる限りの保護者、地域との連携を充実させている。

⑫ 教育環境整備	取組目標	達成目標	学校関係者評価
区と連携し、施設・設備、教材・教具・図書の整備を進める。	A	B	妥当である

【見解】来年度も予算を効果的に執行し、引き続き教育環境の整備に努める。

4 改善の方策についての意見 以下の改善策は妥当である。

課題 「生徒指導」の課題は昨年度より改善したが、要支援児童に対する指導の充実には課題が残る。

対応策 学年組織を母体とした学級経営の充実は継続し、個別支援の方策について巡回指導・SC等との連携の場を設定する。

課題 「教育課程・学習指導」の学習に対しての児童の主体性は昨年度より改善している。継続課題は、新学習指導要領に即した授業改善を図ることである。

対応策 今年度始めた授業における「問い」をテーマにした校内研究の充実発展を図る。ICT 機器を活用し授業の実践事例の記録をし、全教員での優れた実践事例の共有化を進める。